

美しい多摩川フォーラム 平成29年度・第3回運営委員会議事録

日 時：平成30年3月15日(木)15:00～17:00

会 場：立川グランドホテル3階サンマルコ

出席者： 会 長 細野 助博 中央大学総合政策学部教授
副会長 小倉 紀雄 東京農工大学名誉教授
副会長 平岡 治房 青梅信用金庫理事長
委 員 二瓶 国利 東京都建設局西多摩建設事務所管理課長
船木 隆嘉 丹波山村振興課主事
小作 聡一 羽村市産業振興課商工観光係主事
入江 敏弘 大田区 都市基盤整備部都市基盤管理課 計画調整担当係長
小澤 順一郎 青梅商工会議所 会頭
大東 一裕 東京急行電鉄(株) CSR推進室CSR推進部環境課長
早乙女 尊幸 小田急電鉄(株) CSR・広報部 調査役
吉永 秀一郎 森林総合研究所多摩森林科学園園長
永尾 昌文 (公財)東京市町村自治調査会総務部長
石上 恵 (公財)とうきゅう環境財団
木村 康雄 東京都森林組合代表理事組合長
渡邊 勇 おうめ水辺の楽校運営協議会会長
堤 香苗 (株)キャリア・ママ 代表取締役
山口 秀樹 (株)JTBコーポレートセールス法人営業東京多摩支店営業第2課
梶田 隆弘 クラブツーリズム(株) 特別顧問
梶田 俊樹 富国生命保険(相)立川支社市場開発課長
滝井 寛 明星大学事務局次長兼地域交流センター長
アドバイザー 奥山 文弥 東京海洋大学客員教授
澤田 實 東京シティガイド

(敬称略、以下同様)

配布資料：(第1号議案)平成29年度事業決算見通し(案)
(第2号議案)平成30年度事業計画・同予算(案)
(第3号議案)フォーラム規約の一部改正について(案)
(第4号議案)平成30年度総会の開催日程等について(案)
(資料 1)第10回桜ウォーキングと桜守学校開催(3/28)
(資料 2)第9回“美しき桜心の物語”の語り会(日野市・高幡不動尊〈金剛寺〉(4/14)
(資料 3)リビ多摩共催・桜ウォーキング開催(4/12、4/18)
(資料 4)多摩川“水”大学講座(5/18)

1. 開会（運営委員会成立の確認、資料確認）

（事務局）

定刻になりましたので、美しい多摩川フォーラム平成29年度第3回運営委員会を始めさせていただきます。本日の運営委員会は、出席委員、代理出席委員、書面議決書提出委員合せて50名で運営委員総数の過半数を超えておりますので、フォーラム規約第13条3項の規程により、本委員会が成立しておりますことをご報告申し上げます。

始めに、多摩川空撮映像を放映します。これは、設立10周年記念事業の一つとして制作し、昨年7月に開催された設立10周年記念シンポジウムで初公開後、現在は多摩川フォーラム公式ホームページとYouTubeにもアップし、全世界で閲覧可能になっています。また、11月の運営委員会では冒頭3分をご紹介させていただきました。12月の三部会合同部会では全編放映済で、既にご覧になっている方もいらっしゃいますが、本日はじめてご覧になる方もいらっしゃいますので、約14分間のドローンならではの映像をお楽しみください。それでは前方のスクリーンをご覧ください。

－多摩川空撮映像放映(14分間)－

（事務局）

如何でしたでしょうか。会議の進行に移ります。その前に資料の確認ですが……。なお、本日は1月の運営委員会の意見交換を踏まえ、終了時間を30分延長し、最後に出席者全員の自己紹介を予定しております。出席された皆さんの横の繋がりや相互交流が今後活発になればということで、新しい試みになります。それでは、細野会長に開会のご挨拶をよろしく申し上げます。

2. 細野会長挨拶

（細野会長）

皆さまこんにちは。平成29年度・第3回運営委員会です。先ほどビデオを見ていただきましたが、桜と多摩川のペアリングは素晴らしいですね。美しい多摩川フォーラムにピッタリの映像だと思います。来月、会員の皆さんに、10周年記念誌を総会案内文に同封して差し上げることになりますが、役員の皆さんにはこの映像のDVDも併せて差し上げる予定です。楽しみにしててください。

今日は、会議時間を1時間半から30分延長し、2時間となっています。この機会に、皆さんの取り組み内容やPRをぜひお願いします。

それでは、事務局に進行をお願いします。

3. 経過報告

(事務局)

経過報告に入ります。前回の運営委員会以降の活動につきましては、お手元の資料の表紙に時系列でお示しております。

(2) インスタグラムの投稿開始(2/21)

- ・ インスタグラムの投稿開始につきましては、スクリーンをご覧ください。先日、青梅市の姉妹都市であるドイツのポッパルト市より、一人の大学生が、約1週間、青梅信用金庫へ金融業務の研修にやってきました。私ども地域貢献部では、美しい多摩川フォーラムについてレクチャーをおこないました。その際、外国人を多摩地域へ誘客する良いインバウンド策はないかヒアリングしたところ、「Instagramに多摩地域の美しい写真を載せたらどうですか」と提案を受けました。ただ単に美しい写真ではなく、「圧倒的に美しい写真」を載せることが秘訣だそうで、「その場所に行ってみたい！」と思わせるようなものでないと駄目だとのことでした。そこで早速、事務局でInstagramに登録し、投稿を開始しました。写真投稿開始から約3週間が経ちますが、フォロワー86人のうち、81人が外国人となっています。誘客効果はすぐに表れないと思いますが、「東京にも自然豊かで美しい景色がある」ということを、外国の方に地道にPRしてまいりたいと思います。また、多摩川フォーラムでは、平成25年1月から、Facebook も開設しておりますので、ついぞとっては何ですが、スクリーン上でご紹介させていただきます。普段 Facebook を利用されている方はいらっしゃいますでしょうか。いま挙手された方で、まだ「いいね！」を押していない方は、ぜひ、よろしく願いいたします。

～当面の予定～

(3) 第10回桜ウォーキングと桜守学校開催(3/28)【資料1】

- ・ **【資料1】**をご覧ください。3月28日に都立小金井公園で開催します。3月1日に、後援の小金井市様のご協力により、小金井市報、フォーラムのホームページに実施内容を掲載し、募集を開始しました。今現在、13人の申込となっていますので、関心のある方はお申込みください。

～平成30年度の予定～

(1) 多摩川夢の桜街道～桜の札所巡り事業

- ① 第9回“美しき桜心の物語”の語り会(日野市・高幡不動尊(金剛寺)、語り部・平野啓子副会長)(4/14)【資料2】
- ・ **【資料2】**をご覧ください。今春は、関東三大不動の一つ、高幡不動尊で開催いたします。3月1日より募集を開始し、本日、広報「ひの」にも募集記事を掲載していただ

きましたが、あっという間に定員60名に達しました。急遽80名まで募集枠を増やし、86名で募集をストップ、現在はキャンセル待ちで対応しております。

②あきる野・都立小峰公園(武蔵増戸駅～武蔵五日市駅)(4/12)

〈連携先:リビング多摩、大谷桜守〉【資料3】

③高尾・多摩森林科学園～南浅川桜並木と陵南公園(4/18)

〈連携先:京王電鉄、リビング多摩、大谷桜守、多摩森林科学園〉【資料3】

- ・ ②、③につきましては、【資料3】をご覧ください。こちらも毎年恒例の、「多摩川夢の桜街道を歩こう」という事業で、リビタマさんと連携し、4/12と4/18に2本のイベントを開催します。4/12のコースは新設ですが、4/18は毎年恒例のコースとなっています。ガイド役は今年も大谷桜守にお願いしています。今年は桜の開花が早いので、若干心配ではありますが、多摩森林科学園は1月から7月まで何らかの品種の桜が楽しめるようになっています。今年も前園長の吉丸さんにミニ講座をお願いし、特別な設定となっています。リビタマ3月17日号で募集を開始する予定ですので、関心のある方はお申込みください。

(2)多摩川“水”大学講座(とうきゅう環境財団と共催、講師・小倉副会長)(5/18)【資料4】

- ・ 【資料4】をご覧ください。7年目となる今年度は、とうきゅう環境財団様との共催で実施する予定です。引き続き小倉副会長に講師をお願いし、水環境に関するリーダーの養成を目指します。今現在、6人の申込状況となっております。

(事務局)

以上で経過報告を終わります。なお、1月の運営委員会の意見交換を踏まえ、多摩川の最初の一滴を見に行こうと、「笠取山・水干ツアー」を、多摩川源流水干祭りが予定される5月20日(日)に計画中です。フォーラムの公式行事ではなく、有志で行こうと考えておりますので、この機会に参加してみたいという方は、事務局までご一報ください。

(細野会長)

事務局からの経過報告で、何かご質問、ご意見などございますか。ないようですので、本日の協議事項に入りたいと思います。それでは第1号議案の「平成29年度事業決算の見通し(案)」について、事務局の方からご説明をお願いします。

4. 協議

(1)第1号議案:平成29年度事業決算見通し(案)

(事務局)

【第1号議案】をご覧ください。平成29年度は、11月に多摩川中流域の多摩市、青梅

市で開催を予定していた「美しい多摩川クリーンキャンペーン」が雨天のため中止となったこと以外は、ほぼ、計画どおり順調に推移しています。まず、収入の部ですが、会費収入は、当初予算2,000,000円に対し、1,960,000円を見込んでおります。これは、昨年より13,000円の増収となります。寄付金Ⅰ、Ⅱは青梅信用金庫様からの寄付金で、例年の8,000,000円のほかにフォーラム設立10周年記念事業寄付金2,000,000円を加え合計で10,000,000円となります。寄付金Ⅲはフォーラム法人会員A社からのフォーラム設立10周年記念事業寄付金500,000円となります。寄付金Ⅳは東急百貨店様が昨年実施したココエコチャリティーイベントによる寄付金213,336円となります。寄付金Ⅴは青梅信用金庫様からの寄付金合計10,000,000円とは別に、「多摩川夢の桜街道応援定期積金」を販売したことに伴う寄付金100,000円となります。寄付金Ⅸは、たまりパー50キロ命名記念・RUN&WALKを通じて寄せられた大田区民有志の皆さんからの寄付金160,000円となります。

一方、支出の部ですが、ホームページ運営費については、NAS購入費用36,800円が発生したため上振れしております。これは、フォーラムPCの容量を増加させるため、新たに外付HDD、ネットワーク接続ハードディスクを購入したものです。ビデオレター制作費については、下期にビデオ内製化を実現したため下振れしております。美しい多摩川クリーンキャンペーンについては、予定していた3会場のうち、2会場が雨天で中止となったため下振れしております。「フォーラム・御岳の森」維持管理については、「御岳の森」の木柵を補修したため上振れしております。10周年記念シンポジウムについては、「多摩川の歌」合唱に伴う費用が発生したため上振れしております。10周年記念誌発行については、現在3月中の校了を目指して着実に進めております。本日は印刷前の原稿を回覧しておりますので、ご覧くださいませ。なお、10周年記念事業の一つとして今年度予算計上していた100年プラン・パンフレット改訂については、今年度10周年記念誌が完成した後に、この内容を織り込んだ改訂版とさせていただければということで、平成30年度予算に計上しております。ドローンを活用した多摩川空撮映像については、構成に工夫を凝らした点やナレーションを取り入れたことなどにより上振れしております。その他、経費削減努力により、次期繰越金見込額は、2,180,101円(うち1,531,935円は、毎年、大田区民有志の皆さんから寄せられた桜の植樹募金の積立金残高)となります。次ページは、平成29年度活動報告と今後の予定になります。後ほど、ゆっくりとご覧ください。

以上で第1号議案の説明を終わります。細野会長、よろしく申し上げます。

(細野会長)

それでは皆さん、ご質問やご意見がございましたらお願いします。ないようでしたら、ご承認いただけますでしょうか・・・(拍手)。

有り難うございました。次に、第2号議案の「平成30年度事業計画・同予算(案)」を、

事務局の方からご説明をお願いします。

(2) 第2号議案: 平成30年度事業計画・同予算(案)

(事務局)

【第2号議案】をご覧ください。これは、1月25日の運営委員会でご承認いただいた平成30年度事業計画骨子・同予算(事務方素案)をベースに、その後さらに見直しを進め、今回の案に改めた資料になります。まず、収入の部ですが、会費収入は1,950,000円を見込んでおります。寄付金として、青梅信用金庫様より8,000,000円、青梅信用金庫様より「多摩川夢の桜街道応援定期積金」販売に伴う寄付金として100,000円、水辺の事業委託金として青梅市様より250,000円を予定しており、前期繰越金2,180,101円と合わせて合計では12,480,101円となります。

一方、支出の部ですが、2月22日の三部会合同部会での意見交換を踏まえ、ホームページ運営費について見直しをおこない減額しました。なお、平成30年度に、現在使用しているADSL回線から光回線に移行を計画しております。多摩川夢の桜街道～札所見直しについては、10周年記念事業の一つとして平成29年度に見直し作業に着手しており、携帯マップ改訂費用として756,000円を計上しております。なお、公式ホームページ改訂費用2,862,000円につきましては、平成31年度の予算に計上したいと考えております。「フォーラム・御岳の森」の改修工事については、木柵の老朽化により実施するものです。また、東北・夢の桜街道運動として、これまで2,000,000円を計上していましたが、青梅信用金庫様の協議会事務局返上により、2,000,000円の拠出金は平成29年度を以って終了することになりました。なお、美しい多摩川フォーラムは、引き続き東北・夢の桜街道推進協議会の構成員として機能しております。また、10周年記念事業の一つとして、平成29年度に予算計上していた100年プラン・パンフレット改訂については、第1号議案でご説明のとおり平成30年度予算に計上しております。この結果、次期繰越金見込額は3,498,101円となり、合計では、12,480,101円となります。

次ページは、平成30年度事業計画の主な実施内容になります。経済、環境、教育文化、総合軸に主な事業を区分しております。ご覧のとおり、継続事業が中心となります。補足説明をさせていただきますと、まず、経済軸の“美しき桜心の物語”の語り会は、日野市様のご協力をいただき、日野市高幡不動尊での開催を計画しております。多摩川夢の桜街道～札所見直し・携帯マップ改訂ですが、先ほどご説明のとおり、来春に公表できるように準備を進めております。環境軸では、美しい多摩川フォーラムの森(青梅)において、昨年9月に“桜”の記念植樹をおこないましたが、その周辺で下刈りイベントを計画しております。多摩川“水”大学講座につきましては、引き続き小倉副会長に講師をお願いし、平成30年度は7年目となります。とうきゅう環境財団様と共催する計画です。教育・文化軸では、昨年9月に10周年記念事業の一つとして実施し、参加者から評価の高かった、平野副会長とお弟子さんたちによる「多摩の物語」の語り会を、今年度も

9月に実施できればと計画しております。

以上で第2号議案の説明を終わります。細野会長、よろしくお願いします。

(細野会長)

それでは皆さん、ご質問やご意見がございましたらお願いします。ないようでしたら、ご承認いただけますでしょうか・・・(拍手)。

有り難うございました。次に、第3号議案の「フォーラム規約の一部改正について(案)」を、事務局の方からご説明をお願いします。

(3)第3号議案:フォーラム規約の一部改正について(案)

(事務局)

【第3号議案】の1枚目に記載の通り、フォーラム英文呼称の明文化を第1条に定めさせていただきたいということですが、次のページの SATOYAMA@TOKYO という資料をご覧ください。これは、昨年の秋、株式会社 ism(イズム)という、南米・北米のツアーオペレーションや冒険・秘境地域を専門に紹介する旅行会社より連絡があり、新たな事業として、今春から、多摩地区に限定した外国人向けのインバウンド事業を展開するに当たり、特に外国人が好む春の花見ツアーに注力していて、サイトに掲載する写真を探していたところ、当フォーラムの「多摩川夢の桜街道」の桜の写真が目にとまり、ぜひ使わせてほしいと依頼がありました。先日、写真掲載の連絡をいただきました。それが、皆さんにお配りしたものです。下欄には、英文で多摩川フォーラムのクレジットを入れていただきました。このように、民間レベルでは、外国個人旅行者をターゲットにした日帰りツアーなど、多摩の魅力の世界に発信する動きが具体的に出てきております。

【第3号議案】の1枚目をご覧ください。以上のことから、多摩川フォーラムの英文呼称である Forum for the Beautiful Tama River について、フォーラム規約に明記したいと存じます。

以上で第3号議案の説明を終わります。細野会長、よろしくお願いします。

(細野会長)

この英文呼称は、ネイティブの人に確認したのですか？

(事務局)

はい、事前にダニエル・カール副会長にご相談申し上げ、「これが的確な英文である」とご回答をいただいています。

(細野会長)

あの方、ネイティブでしたっけ？(一同笑)

それでは皆さん、他にご質問やご意見はございますか。

(奥山アドバイザー)

略称(多摩川フォーラム)の英文はいらないのでしょうか。

(細野会長)

略称にもわざわざ英文を付けますか？事務局はいかがでしょうか。

(事務局)

略称の英文化までは考えておりませんでした。例えば頭文字を取る等のイメージでしょうか。

(奥山アドバイザー)

日本語では多摩川フォーラムという略称があります。英文の Forum for the Beautiful Tama River は長いですよ。英語でも簡単に、「ああ、この団体か」と分かるような略称があれば、さらに外国の方に美しい多摩川フォーラムを理解していただくのに役立つかなと思いました。

(細野会長)

ただいまの意見について、皆さんのご意見はいかがですか。

(堤運営委員)

先ほど、「SATOYAMA@TOKYO のサイトに Forum for the Beautiful Tama River とクレジットを入れてもらった」と説明がありましたが、例えばここにクレジットとしてFBTRと書かれたら、何の事だか良く分からないのではないかと思います。WHOなど、それが世界保健機関(World Health Organization)であるとすぐに分かるような、定着してからの略称であれば良いと思いますので、今時点で決めなくても良いのではないかと、個人的には考えます。

(細野会長)

他にご意見はありますか。確かに慶応義塾大学なんていうのも言いにくいですが、少し定着してから考えるというのはいかがでしょうか、奥山さん。

(奥山アドバイザー)

皆さんがそういう意見であれば、それで良いのではないのでしょうか。

(細野会長)

では、よろしければ、ご承認いただけますでしょうか・・・(拍手)。

有り難うございました。次に、第4号議案の平成30年度総会の開催日程等について(案)を、事務局の方からご説明をお願いします。

(4)第4号議案:平成30年度総会の開催日程等について(案)

(事務局)

【第4号議案】をご覧ください。開催日時は平成30年5月26日(土)9時半～11時半、開催場所はフォレスト・イン昭和館(昭島市)です。開催内容はご覧の通りとなっております。ご承認いただきました後には、4月末を目処にフォーラム全会員にご案内を郵送させていただきます。

事務局からは以上です。細野会長、よろしくお願いたします。

(細野会長)

プランニングについて、もう少し詳しい話を聞くことはできますか。

(事務局)

はい、平成30年度総会は役員の改選期ではございませんので、比較的時間に余裕があることから、国土交通省京浜河川事務所の服部所長に30分程度の基調講演を打診したところ、即答でご快諾いただきました。国土交通省のホームページを拝見しましたら、平成30年度は多摩川改修100年に当たり、節目の年ということで、多摩川100年の歴史や治水の歴史等のエッセンスをお話いただく方向で調整しております。

(細野会長)

はい、有り難うございます。せっかく会員の皆さんが総会に集まるので、会員の皆さんと私たちが親しく話し合う場があっても良いと思います。ちょっとした茶話会のようなものを開くことを考えていただけたらと思いますが、皆さんはいかがでしょうか。総会だけ出席して、「はい、さようなら」っていうのも、いかがなものでしょうか。

(事務局)

総会の終了予定時間が11時半なので、場合によっては会費制にして、例えばサンドイッチ・パーティー等のようなものを開くのも良いのかなと、会長の話を伺って思い浮かびました。

(細野会長)

このフォーラムは、「人々の心ゆるく結んで」成り立っている会ですから、事務局でご

検討をお願いします。

それでは、第4号議案の総会開催日程等について、ご承認いただけますでしょうか…(拍手)。有り難うございました。

以上で、4つの議案が全て承認されましたので、協議事項を終わります。なお、第1号議案から第3号議案までは、総会付議事項ですので、念のため申し添えます。

では、事務局より、意見交換をお願いします。

5. 意見交換

(1) 三部会合同部会(2/22)の意見交換を踏まえて【資料5】

(事務局)

【資料5】をご覧ください。始めに、2月22日の三部会合同部会で議論された主な内容について簡単にご報告させていただきたいと存じます。資料の9P～12Pは、次回の「多摩川子ども環境シンポジウム」についての発言内容になります。アンケート結果を踏まえて賞の内容等については、特別ご意見がありませんでしたが、当日、体調を崩して欠席された山崎運営委員より「賞については、子どもたちが投票し、投票結果を踏まえて当日参加されたフォーラム役員の皆さまが審査員となってグランプリ、準グランプリを決定することは継続し、子どもたちのモチベーションを高めるため準グランプリをもう1組増やし、さらに、審査員が選ぶ特別賞を1組新設してはどうか」との具体的な提案がありました。事務局としては基本的にこの方向で検討し、最終的には募集状況を見ながら細野会長とご相談のうえ進めさせていただければと考えております。また、前回のシンポジウムに参加された奥山アドバイザーより「発表グループの差が大きいため、募集のガイドラインをつくるべき」とのご意見をいただきました。確かに募集基準を設けることは将来的に検討する必要があるかもしれませんが、現状はかえって募集に混乱を招くことが想定されます。やっと10～12組集めている状況の中で、ガイドラインを作ることによって、かえって応募組数が減ってしまうのではないかと危惧しております。最終的には、渡邊部会長より、「発表したい子どもたちに機会をつくり、発表を通じて環境への関心を高めることが重要」との見解が示されましたので、当面ガイドラインをつくることは見送りたいと存じます。

12P～18Pは、これからの10年に向けたフォーラムの取り組みについての発言内容になります。まず、部会については、ぜひ出席者名簿を配付してほしいとのご意見をいただきました。これについては、所属とお名前であれば、個人情報の問題はクリアできるとの見方も出来ることから、次回開催に向けて、運営委員会同様に所属とお名前を入れた座席表を配付する方向で検討しております。先ほどこの件で、細野会長にご相談したところ、「会議によっては、名簿を配付するのではなく、名札を用意するところもある」とのアドバイスをいただきました。「最終的には部会長と相談し、各部会で進めてください。何でも一律にこうしなければいけないというのは無いので、やりやすいように、皆さんのコ

ンセンサスが得られれば進めてください」とのご指示をいただきましたので、その方向で進めさせていただきます。また、運営委員会同様に、終了時間を30分延長して、取り組み事例の発表会等をおこない、会員同士の横の連携を広げていくという試みについても緩やかな合意が得られましたので、次回の部会より実施したいと考えております。また、ホームページの英文化についても反対のご意見はありませんでした。来春に、多摩川夢の桜街道～桜の札所八十八カ所のリニューアルを計画しており、平成31年度に、多摩川夢の桜街道のホームページの英文化を目指し、予算措置を踏まえた検討を始めたところです。

本日は今年度最後の運営委員会になりますので、ただいまの報告に関連してのご質問やご意見、これからの多摩川フォーラムに期待すること、何でも結構ですので、よろしくをお願いします。細野会長、よろしくお願いたします。

(細野会長)

それでは皆さん、ご質問やご意見がございましたらお願いします。

((公財)東京市町村自治調査会 総務部長 永尾 昌文 様)

私は部会も出席していますが、確かに名簿はあったほうが良いと思います。子ども環境シンポジウムの表彰の件についても、おっしゃることは良く分かり、机上とフィールドということですね。しかしご提案のように、なるべく多くの子どもたちが「やって良かったな」と思えるような、ご褒美が少しでも与えられれば、励みになるのではないかと思います。

(渡邊運営委員)

子ども環境シンポジウムの評価の仕方について、部会で色々な意見が出ました。これについては大変重要な事なので、慎重に議論し、一年間やってみてどうだったか、その結果を踏まえて、問題点についてきっちりと検証していかないと、子どもたちの発表する勇気が阻害されては困ります。今回は、子どもたち自身が評価するというやり方に見ましたが、これについても次回はどういう方法が良いのか、検討したほうが良いのではないかと思います。

部会後の自己紹介について、私は非常に良いと思います。場合によっては、外部の方を呼んで、最近の旬な話題をお聞きするのも良いのではないかと思います。会員の中には、それを聞きたいがために部会に出席される方も出てくるかもしれませんので、良いと思います。

(堤運営委員)

名札や名簿に関しては、事務局の手間を勘案した上で行えば良いと思います。ただ、

事前に出席連絡をもらっていたのに、当日出席する人が変わった場合には、ご自身で(名札に)名刺を差し込むというやり方も良いと思います。いずれにせよ、事務局の手間を考えた上で行っていただきたいと思います。

子ども環境シンポジウムについて、昨年、子どもたち同士で賞を決めさせたというのは素晴らしいことだと感じ、さすがは山崎さんだなと思いました。大人目線だと、順番を付けて良いのだろうか、例えば小学校低学年の発表と高学年の発表で、どうやって順番を決めるのか、色々あると思いますが、これからの子どもたちをアユのように鍛え、自分の力で遡上できるように、賞があるということが、子どもたちのモチベーションに繋がれば良いと思います。フォーラムには行政や法人会員が名を連ねていますので、子ども環境シンポジウムの副賞を提供してもらえないかどうか、募ったらどうでしょうか。そうすれば、提供した行政や企業側も、当日会場に見に行きたいと思うのではないかと思います。子ども環境シンポジウムは、師走の土曜日という、皆さんが忙しい時期に開催されますので、参加者は事務局と関係者、発表する子どもたちとその親御さんだけになっています。もし行政や企業から副賞の提供があれば、そういう方々も足を運ぶ機会になるのではないかなと思いますので、予算措置をしなくても、沢山の人来ていただけるのではないかなと思います。

部会後の自己紹介については、総論として、皆が交流できるので良いと思いますが、個人的には、毎回2時間はちょっとキツイなあと思います。会議だけで1時間の日と、交流もあって2時間の日と、メリハリをつけても良いのかなと思います。夜の懇親会があっても良いと思うのですが、その代わり、メンバー個々のお知らせや簡単な紹介は、会議の中で行っていただけると有り難いです。

(細野会長)

有り難うございました。子ども環境シンポジウムについて、最後に小倉副会長からご意見をお願いします。

(小倉副会長)

私はシンポジウムに毎回参加しておりますが、今までの発表内容は、一つの事について調査研究をして結果発表を行うグループと、川で思いっきり遊んだ体験談を発表するグループの2つに分かれていて、どちらが良いのか、基準によって判断しづらいです。ジャンルで分けるのもおかしいですが、子どもたちの評価は、調査研究をしたものについてのほうが高かったように思います。我々からすると、「そうは言っても、川で遊ぶ機会がなかなか無いので、川に親しんだり思いっきり遊んだりした体験が大事だ」という評価もできると思うので、その判断基準が、子どもと大人で少し違うのかな、それで良いのかな、と思います。みんな違って良いという事だと思います。

6. 出席者全員の自己紹介(取り組み事例の発表)

(細野会長)

山崎運営委員から、「せっかく集まっているのだから、皆から一言ずついただきますよ」という話がありましたので、今日は取り組み事例の発表や自己紹介をお願いします。ただし、持ち時間は一人1分です。それでは、時計回りで順番をお願いします。

<自己紹介、取り組み事例については、運営委員会直接の議論ではないため省略>

7. 総括

(小倉副会長)

(自己紹介の部分は省略)

本日は、参加された皆さんから、どんな取り組みをしているのか簡単に紹介していただき、良く理解することができました。これからは時間があれば、一人もしくは二人から詳しいお話を聞ける機会があれば良いと思います。全員発言というのは、大変良い機会だと思いますので、これからも、そういう時間を設けていただければと思います。

(細野会長)

有り難うございました。この会は、青梅信用金庫さん無しでは持続可能性がありません。なお一層のご寄付をお願いしたいという想いで、締めの一言を平岡副会長よりお願いいたします。

(平岡副会長)

(自己紹介の部分は省略)

今日は、今年度の決算見通し(案)、来年度の事業予算(案)が承認されました。最終的には総会でご承認いただいた上で、平成30年度の事業がスタートします。どうぞ皆さまには引き続きご協力いただきますよう、よろしく願い申し上げます。

8. 閉会

(細野会長)

それでは、平成29年度第3回運営委員会をお開きにします。有り難うございました。

以 上

(美しい多摩川フォーラム事務局)